

シラバス

2021 年度

研究科

本物にふれる 本当の力をつける



学校法人高澤学園 美術造形専門学校

創形美術学校

ファインアート科 / ビジュアルデザイン科 / 研究科

履修ガイド

1 . シラバス・出講 表

- (1) 各授業のシラバス・出講表として授業内容の他、学習目的、予習、準備物、注意事項とともに評価方法および教員・講師の出講日も記載。授業の1週間前にはアトリエに出講表を掲示。また学校ホームページでも確認することができる。
- (2) 指導日以外は授業が休みということではない。指導日以外の日も各自で制作を進めること。授業期間で制作を行うことで時間数に基づき単位がそれぞれ設定されている。スケジュールを確認し、作品提出日をしっかり守ること。
- (3) シラバス、出講表、年間行事は学校ホームページで閲覧できる。
*年間行事の変更があった場合には、その都度更新される。

2 . 単 位

単位認定

- (1) 実技の場合、課題の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。学科の場合、試験、課題(レポート含む)等の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。
- (2) 単位計算の基準=各授業科目(実技、学科共)に対する単位は週90分半期17週相当(25.5時間)の授業をもって1単位とする。

進級の単位数

本校の学生が進級するには、1年間の修得単位が32単位以上なければならない。

卒業・修了の単位数

本課程の学生が卒業するには3年以上在学し、かつ所定の96単位以上修得しなければならない。

研究生は1年以上在学し、かつ所定の32単位以上修得しなければならない。

3 . 履 修

- (1) 授業について単位を修得するためには2/3以上の出席が必要となる。止むを得ず授業を欠席する場合、必ず事前に学校へ連絡すること。
- (2) 原則、指導日の授業開始時に出欠確認を行う。遅刻・早退は記録し、欠席扱いとなる場合がある。
- (3) 交通機関の遅れに関しては必ず遅延証明書を授業担当教員へ提出すること。
- (4) 学生の履修は在籍する科の指示に従い、受講する科目は原則として全て履修する。
- (5) 授業途中からの受講は原則として認めない。
- (6) 受講した科目は、原則として変更することはできない。
- (7) 選択を希望する科目で受講人数が多い場合は、人数制限を行う事がある。

4. 採点

- (1) 受講した科目は課題(レポート含む)を提出しなければならない。
- (2) 必要に応じて授業内で課題(レポート含む)提出を複数回、行うことがある。
- (3) 科目の採点は、授業終了時に行われる。
- (4) 採点の方法は課題(レポート含む)の提出を含む総合的な評価で採点する。 ※評価方法はシラバスに掲載 (5) 受講した科目の出席日数が3分の2以上に満たないものは、原則として採点を受けることができない。

5. 追採点

病気その他やむを得ない事由により課題(レポート含む)を提出することができなかった者に対し、事前にその旨連絡のあった場合に限り、願い出により実施することができる。ただし課題(レポート含む)内容は授業内の課題(レポート含む)と異なる場合がある。

6. 採点基準

- (1) 採点は、60～100を合格とし、それ以下を不可とする。
- (2) 配点区分は次による。

採点	評価	
100～95	AA	合格
94～80	A	
79～70	B	
69～60	C	
59～0	D	不可
保留	-	仮処置

- (3) 採点保留(仮処置)による扱い

※学科において採点の結果、点数が59点以下の場合、不可となり原則として次年度以降において再履修となる。

※授業を担当する講師による採点が保留となった場合は、追課題(レポート含む)が課せられる。追課題の採点は専任の判断に委ねられ、成績会議によって認定される。

※修得単位数が1年次、2年次それぞれで15単位以下、または1・2年次を通じて合計32単位以下は留年となる。16単位以上で所定の32単位に足りない場合は仮進級という扱いになる。

7. 学科再履修

採点の結果、不可となった者は次年度以降において原則としてその学科目を再履修しなければならない。ただし、在籍学年の履修を優先とするため、履修科目の変更、または再履修年度の変更についての決定は学校の指示に従うこととする。

8. 仮進級／卒業・修了資格判定および卒業・修了判定

- (1) 本課程は前期、後期授業において学科・実技の履修状況の確認を学期末に学生・保護者に郵送する。
単位不足のある学生は学校の指示に従い、不足分の単位修得を行わなければならない。
- (2) 卒業・修了年次においては11月頃に卒業資格判定を行う。その際に出席など総合的に考慮した結果、卒業・修了資格無しと判定された者は卒業・修了制作を着手することができず、卒業および修了不可となる。
- (3) 卒業・修了判断保留の学生については卒業・修了制作作品提出後、卒業・修了判定を行い、単位の修得状況の他、卒業・修了制作規定違反など総合的に考慮した結果、卒業・修了不可となり、留年もしくは卒業・修了延期となる場合がある。
- (4) 学費において未納がある場合、卒業・修了判定において卒業・修了不可もしくは除籍となることがある。

9. 専攻を越えた授業

専攻を跨いで受講することが可能。ただし専任教員の許可が必要。

- (1) 授業開始の2週間前までに専任教員に「受講届」を提出、面談、了承を得てから受講すること。
- (2) 授業によっては、そこで使用する道具、機材やアプリケーションなどの関係で受講できないことがある。
- (3) 原則、自身の専攻を疎かにしない範囲での受講となる。
- (4) 「受講届」は学校ホームページよりダウンロードできる。

10. リモート（遠隔）授業

本校では対面授業の他にリモート（遠隔）授業を行う。

リモート授業はスマートフォンでの受講も可能であるが、可能であればPCやタブレットでの受講を推奨する。また、十分な環境が整っていない学生のために学校内に受講教室が用意されている。また、ネット環境が不安定で映像や音声がかかるなどの恐れがある場合も学校内の受講教室での受講を推奨する。

リモート授業は以下の2タイプの授業形態である。

- (1) 「リアルタイム授業」はZoomを使用してリアルタイムに行う授業である。
- (2) 「オンデマンド授業」は創形特設ページ（非公開）にアクセスし、録画された動画を視聴

し、受講する授業である。

動画視聴は創形生のみでの非公開となる。パスワードは学外に漏れないように取り扱いには充分注意すること。

※授業の形態や授業の進め方に関しては授業担当教員から説明される。

リアルタイム授業の進め方

- (1) リアルタイム授業はあらかじめ Zoom をインストールして授業を行う。スマートフォンでも受講可能。
- (2) Zoom の表示名は必ず学籍簿登録の氏名とすること。学生登録名になっていない場合、欠席扱い、あるいは退出させることがある。
- (3) Zoom アカウントの ID とパスワードは事前に各授業ごとにメールで通達する。
- (4) 配布する授業資料がある場合は Zoom アカウントの ID などと共に連絡し、本校ホームページ、あるいは Google Classroom へ PDF でアップするか、登校時に配布する。受講生は事前に目を通し、場合によってはプリントアウトしておくこと。

資料を閲覧できるのは創形生のみでの非公開となる。取り扱いには充分に注意すること。

- (5) 授業は原則、通常の授業時間で行う。授業開始 5 分前までに準備し、接続すること。
- (6) できるだけ静かな場所で受講すること。また背景に映り込むものに不都合がないか確認を行うこと。

ハッキングや情報漏洩のリスク軽減のため、フリーWi-fi の使用は推奨されない。

- (7) ウェブカメラ付きのパソコンやスマートフォン等を使用し、カメラは必ず ON にし、マイクはミュートにして受講すること。質問など発言する際にマイクのミュートを解除して使用すること。発言する際には必ず教員の許可を得ること。
- (8) 教員への質問はチャット機能を使用するか、教員が許可した場合にマイクのミュートを解除して行うこと。

教員の音声途切れた場合なども同様に、チャット機能を使用するか、マイクのミュートを解除して質問または再度、話し直してもらうようお願いすること。

- (9) 授業時間内での Zoom での対応は教員の指示に従うこと。
一時的に Zoom から退出する場合は、担当教員に必ず許可を得ること。
- (10) 自宅のネット、パソコン環境が不十分な学生は本校アトリエにて受講すること。
また、リアルタイム授業終了後に次の授業までの登校時間が確保できない学生も同様に学校の指定されたアトリエにて受講すること。

※午前中に行う 3 時間の実技授業は 9:00 授業開始 12:00 終了とする。午後実施する実技授業は 13:30 授業開始 16:30 終了とする。これは午後の対面授業の登校時間を確保するためである。午前中の実技授業において、登校時間がかかり午後の授業に間に合わない場合は、

教員に許可を願い出て早退することができる。ただしその場合は早退の時間に相応の宿題が出される。

リアルタイム授業の出欠・採点

- (1) 担当教員が Zoom で確認して出欠を取る。場合によっては Zoom の録画機能を使用することもある。
遅刻した場合は、チャットあるいは音声にて必ず担当教員へ申告すること。
また途中で退席は早退扱いとなることがあるので注意すること。一時的に Zoom から退出する場合は、担当教員に必ず許可を得ること。
- (2) 作品、レポートの提出は授業担当教員の指示に従って提出すること。採点は対面授業と同様の方法にて行われる。
- (3) データでの提出は担当教員の指示に従い、Google ドライブ、DropBox などで提出する事もある。
- (4) 作品データを添付する場合は 10MB 以内にする事。
10MB 以上のデータサイズの場合はオンラインストレージサービスなどを使用すること。以下参照。
オンラインストレージサービス <ギガファイル便>
<https://gigafile.nu/>
※1 ファイル=200GB まで可能。使用方法が分からない場合はメールにて学校へ問い合わせること。

オンデマンド授業の進め方

- (1) オンデマンド授業は、Gmail アカウントを使用する。
- (2) 創形特設ページ（非公開）にアクセスし、録画された動画を視聴して行う。スマートフォンでの受講も可能。
- (3) 創形特設ページのアカウントの URL や ID、パスワードなどを事前に通達する。
- (4) 授業動画は、各自でアクセスして視聴すること。
授業では 1 回の授業に対してレポートか作品制作などの提出物がある。提出日に注意し、遅滞なく提出すること。それらの提出が無い場合は受講したことにならないので注意すること。
- (5) 授業内で作品に対する講評やコメントに関してもオンラインで行うことがある。
- (6) 配布する授業資料がある場合は、創形特設ページのアカウント ID などと共に連絡し、本校ホームページ、あるいは Google Classroom へ PDF でアップするか、登校時に配布する。
受講生は事前に目を通し、場合によってはプリントアウトしておくこと。

動画視聴、および資料を閲覧できるのは創形生のための非公開となる。パスワードは学外に漏れないようにまた資料の取り扱いには充分注意すること。

- (7) 自宅のネット、パソコン環境が不十分な学生は本校アトリエにて受講すること。
オンデマンド授業の出欠・採点
- (1) 授業の形態や授業の進め方に関しては授業担当教員から説明される。
- (2) 授業の出欠は作品、レポートなどの提出物が期限内に提出されたことの有無で担当教員が取る。
期限内に必ず提出すること。
- (3) 作品、レポートの提出は授業担当教員の指示に従って提出すること。採点は対面授業と同様の方法にて行われる。
- (4) データでの提出は担当教員の指示に従い、Google ドライブ、DropBox などで提出する事もある。
- (5) 作品データをメールに添付する場合は 10MB 以内にすること。
10MB 以上のデータサイズの場合はオンラインストレージサービスなどを使用すること。(上記参照)

リモート授業における禁止事項

- (1) ビデオ通話、音声通話の、録画・録音・撮影は禁止。また転記することも禁止。
- (2) 許可なく誰かを同席させるのは禁止。もしも同席を希望される場合は、事前に教員の許可が必要。

11. 授業単位サポート制度

「授業単位サポート制度」とは単位修得をサポートするための制度。いずれも専攻担当専任教員と面談を通じて認定される。

代替授業、学外活動を通じて認定

- (1) 所属専攻、該当学年の授業以外の授業を受講することによる単位修得（単位数：受講授業単位に準ずる）
※所属専攻の授業と重複した場合は受け入れ授業の担当教員の許諾により、途中からの受講、中抜けも認め、その場合のみ出席扱いとする。
- (2) インターンシップに参加、レポートを提出することによる単位修得（単位数：1 単位）
※2 年次の「インターンシップ」の授業と同様のインターンシップを、授業以外の期日に行った場合に認める。「インターンシップ」の授業同様に書類、レポート提出が必須。採点方法は受入会社の評価に従い採点。
- (3) ボランティア活動などによる単位修得（単位数：活動期間に準ずる）

※単位認定は原則、実質1日8時間のボランティア活動を5日行う事で1単位とする。事前に専攻担当専任教員による面談を行い、ボランティア活動を行った後に「ボランティア活動報告書」の提出をもって認定。採点評価。

認定されるボランティア活動に、豊島区の国際アート・カルチャー活動を含む。

(4) 学外コンペに出品することによる単位修得（単位数：1単位）

※専攻担当専任教員にコンペの内容を事前に報告し、出品前に専攻担当専任教員の講評を受けて出品すること。ただし授業の一環として行われたコンペの出品は認められない。

例：「JAGDA 学生グランプリ」「アワガミ国際ミニプリント展」「回遊美術館」
「GU タペストリーコンペ」etc

特別支援授業を通じて認定

特別支援授業を受講することによる単位修得（単位数：各1単位）

受講料：1講座15,000円 / 採点方法：提出作品、試験、レポート等によって採点。

※特別支援授業とは、単位取得を支援するために行われる授業。春期休暇、夏期休暇に実技授業・学科授業が開設。授業日の前の週までに事務局窓口で受講することを告げ、受講料を支払うことにより受講が認められる。

12. 参考作品

提出のあった課題作品、およびレポートについては原則として採点終了後、すみやかに返却を行う。場合により参考作品として一定期間預かり、授業の資料として授業時やガイダンスなどで使用する事がある。また、学校案内用の印刷物や広報（ホームページ、SNSなど）および学校外など授業以外での目的で作品を使用する事がある。

13. 各種書類

各種届け出、証明書の発行は本校事務局にて受け付ける。

ダウンロードが「可」の書類は学校ホームページよりダウンロードできる。(創形ホームページ → 学生生活 → スクールガイド →)

各種届け出

種 類	提出先	本人印	保証人印	ダウンロード
住所変更届	事務局	要	不 要	可
受講届	教務	不 要	不 要	可
欠席届	教務	要	要	可
感染症登校許可書	教務	不 要	不 要	可
忌引届申請書	教務	要	要	可
学籍異動申請書	教務	要	要	可
休学届	教務	要	要	可
復学願	教務	要	要	—
退学願	教務	要	要	—

証明書関係

種 類	交付日	申込先	手数料
在学証明書	2日後	事務局	500円
卒業証明書	2日後	事務局	500円
卒業証明書(英文)	7日後	事務局	1,000円
卒業見込証明書	2日後	事務局	500円
修了証明書	2日後	事務局	500円
修了証明書(英文)	7日後	事務局	1,000円
修了見込証明書	2日後	事務局	500円
成績証明書	7日後	事務局	500円
成績証明書(英文)	7日後	事務局	1,000円
再発行学生証	3日後	事務局	1,000円
推薦書・学校証明・編入学基礎資格証明など	7日後	事務局	500円
学生証明など	7日後	事務局	500円

勤労学生控除・資格変更書類など	7日後	事務局	500円
出席証明書	7日後	事務局	500円
学生旅客運賃割引証（学割証年間3枚まで）	1日後	事務局	無料

※上記証明書において学費未納の場合は発行不可。

*新型コロナウイルスの感染症拡大の影響に伴い授業日程（時期・期間・時間帯など）、授業内容、使用アトリエなどが変更になることがあります。詳細は出講表を確認してください。

研究科ファインアート・ビジュアルデザイン課程
アート研究・デザインビジネス・美術進学コースシラバス

【研究科・研修生】

目的

大学や専門学校を卒業後、1年間でより深く専門分野の知識や技術を取得し、以下の事を目的とします。

- 「自立した創作、研究活動の確立」
- 「プロに必要なビジネススキルを習得」

特徴

1. 自在に授業選択が可能な受講プログラム（*美術進学コースは対象外。）
2. 実践的な授業カリキュラム
3. グローバル社会を意識した世界水準の教育
4. プロのクリエイターによる直接指導
5. 充実した環境と設備

コース別の特徴

〈アート研究コース〉

- 1つのテーマを掘り下げて研究することが可能
- 創形美術学校“作品”展、大学版画展などの学外展示の参加
- 研修派遣員の応募が可能（パリ国際芸術都市研修生・メキシコ研修派遣員）

〈デザインビジネスコース〉

- デザイン制作会社への就職に必要な知識とスキルを身につけることが可能
- 就職支援を受けられ、インターンシップへの参加も可能
- 「webコミュニケーション」「UIデザイン」「ポートフォリオ講座」「著作権」「日本語」などの講座

〈美術進学コース〉

- 大学院受験に特化したカリキュラム
- 専攻分野の作品の指導とともに「進学準備講座」「小論文」「研究計画作成法」「ポートフォリオ講座」「日本語能力試験N1対策」「美術日本語」などの進学対策の講座が設けられている。
- 個人面談を通じて、希望校に合わせた受験対策をアドバイス
- 模擬面接試験の実施

前期学科授業名：「日本語」 担当講師：蔣 燕萍

授業期間：2021/04/12(月)-2021/07/02(金)

学習目標：①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。

②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。

授業内容：試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。

前期学科授業名：「美術日本語」 担当講師：メロス美術学院講師

授業期間：2021/07/05(月)-2021/12/13(月)

学習目標：美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。

授業内容：1.1分間スピーチ（30分）

2.美術関係記事についてのディスカッション（50分）

3.映像教材を用いた美術用語導入（90分）

4.前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分）

5.課外宿題

授業名：「総合研究」

担当講師：山本哲次、工藤礼二郎、鈴木吐志哉、岡山拓史、飯田 淳

授業期間：2021/04/12(月)-2021/10/02(土)

学習目標／授業内容：前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。

授業名：「修了制作」

担当講師：山本哲次、工藤礼二郎、鈴木吐志哉、岡山拓史、飯田 淳

授業期間：2021/04/12(月)-2021/01/25(火)

学習目標／授業内容：修了作品の制作。ポートフォリオの完成。

前期学科授業名：「日本語」 担当講師：蔣 燕萍

授業期間：2021/04/12(月)-2021/07/02(金)

学習目標：①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。

②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。

授業内容：試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。

前期学科授業名：「美術日本語」 担当講師：メロス美術学院講師

授業期間：2021/07/05(月)-2021/12/13(月)

学習目標：美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。

授業内容：1.1分間スピーチ（30分）

2.美術関係記事についてのディスカッション（50分）

3.映像教材を用いた美術用語導入（90分）

4.前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分）

5.課外宿題

授業名：「特別講座/就職セミナー」 担当講師：ゲスト講師

学習目標：特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想法をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。

就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。

授業内容：7/11(土)就職セミナー1(卒業生)、7/28(火)就職セミナー2(岡山)、9/4(金)2限目古美術研修講座、9/26(土)同窓会特別講座、10/7(水)知的財産権(山本)、10/17(土)就職セミナー3(アイデム)、12/12(土)創形展特別講座*日程は出講表を確認すること。

授業名：「総合研究」

担当講師：山本哲次、工藤礼二郎、鈴木吐志哉、岡山拓史、飯田 淳

授業期間：2021/04/12(月)-2021/10/02(土)

学習目標/授業内容：オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれ専攻分野の前期本科2、3年のカリキュラム履修及び習得。

イラストレーション・絵本専攻分野選択

前期実技授業名：「イラストレーション表現」 担当講師：谷口広樹

授業期間：2021/04/24(土)-2021/07/17(土)

*美術進学コースの場合、タイトルは「イラストレーション研究A」となります

学習目標：ただ自身の好きなものを描くのではなく、目的に合う自分の表現のための演出力と創造性を身につける

授業内容：季刊誌の表紙のイラストレーションを制作する および 各授業毎に課題を課し授業内で制作をする

前期学科授業名：「ポートフォリオ講座」 担当講師：上野 仁志

授業期間：2021/04/24(土)-2021/07/17(土)

学習目標：初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々対応にて、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。

授業内容：ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を習得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。

授業名：「研究テーマ制作」

担当講師：山本哲次、工藤礼二郎、鈴木吐志哉、岡山拓史、飯田 淳

授業期間：2021/10/01(金)-2022/01/25(火)

学習目標／授業内容：オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれ専攻分野による後期授業の履修もしくは「研究テーマ制作」の習得。ポートフォリオ(就職試験用)の完成。最終的に日本での業界就職を目指す。

後期実技授業名：「就活ポートフォリオ(就職支援カリキュラム)／インターンシップ」

担当講師：上野仁志、山本哲次

授業期間：2022/02/07(月)- 2022/02/26(土)

学習目標：仕事に対する意識を高め、就職活動を知り、将来計画のきっかけをつくることを目標とします。

インターンシップを経験することにより、専門的知識についての実務能力を高めるとともに、学習意欲に対する刺激を得られ、高い就業意識を身につけることができます。さらに、将来の進路選択において自らの適性や能力について実践的に考える機会になります。クリエイティブ業界の最新の情報を得られるとともに、会社が求める人材に対するニーズが把握できる事も大きなメリットです。

授業内容：自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。

就業体験(インターンシップ)をし、実習レポートをまとめて提出。(希望選択制)

前期学科授業名：「日本語」 担当講師：蔣 燕萍

授業期間：2021/04/12(月)-2021/07/02(金)

学習目標：①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。

②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。

授業内容：試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。

前期学科授業名：「絵画概論」 担当講師：早見 堯

授業期間：2021/04/15(木)- 2021/07/15(木)

学習目標：絵画は支持体や絵具などの物質でできている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心のない物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。

授業内容：ベラスケスやデュシャン、岡本太郎・山田正亮や草間彌生などを通して絵画が成り立つ仕組みを知り、現代美術を中心にして古今東西の絵画を見ながら、それぞれの絵画がどういうふうになられ、どう見えるのかを一緒に考えていきます

前期学科授業名：「ポートフォリオ講座」 担当講師：上野 仁志

授業期間：2021/04/24(土)-2021/07/17(土)

学習目標：初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々対応にて、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。

授業内容：ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を習得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。

前期・後期学科授業名：「芸術概論」 担当講師：新川 貴詩

授業期間：2021/07/05(月)-2021/12/13(月)

学習目標：本講義では、現代美術を読み解く力を養うことを目的とする。また、日本語読解力の向上も目標とするため、現代美術に関する論文や記事など各種の文献講読を中心に講義を進めていく。

授業内容：20世紀末から今世紀にかけての現代美術を中心に考察する。個々の美術作品やアーティストたちに関する解説のみならず、国内外の美術動向やシーンの変遷、美術館や美術教育など文化環境、国や自治体の文化政策など多角的な視点で同時代の美術について検証する。

前期・後期学科授業名：「美術日本語」 担当講師：メロス美術学院講師

授業期間：2021/07/05(月)-2021/12/13(月)

学習目標：美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。

授業内容：1. 1 分間スピーチ（30分）

2. 美術関係記事についてのディスカッション（50分）

3. 映像教材を用いた美術用語導入（90分）

4. 前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分）

5. 課外宿題

前期・後期学科授業名：「表現演習1・2」 担当講師：蔣 燕萍

授業期間：2021/04/12(月)-2022/02/04(金)

学習目標：思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。

授業内容：大学院合格まで授業や個別対応にてサポートします。

前期・後期学科授業名：「文章表現1・2」 担当講師：蔣 燕萍

授業期間：2021/04/15(木)-2022/02/17(木)

学習目標：文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。

授業内容：研究計画書、小論文、志望理由書などの書く添削授業。

美術進学コース絵画造形専攻分野対象

授業名：「絵画造形総合研究ゼミ1・2」 担当講師：工藤礼二郎

授業期間：2021/04/12(月)-2022/02/25(金)

学習目標：これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、志望校に対応できる作品制作及び受験用ポートフォリオの充実を目指す。

授業内容：各自の研究テーマに合わせた作品の制作。

前期学科授業名：「日本語」 担当講師：蔣 燕萍

授業期間：2021/04/12(月)-2021/07/02(金)

学習目標：①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。

②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。

授業内容：試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。

前期授業名：「版画概論」 担当講師：天野純治

授業期間：2021/04/15(木)- 2021/07/15(木)

学習目標：この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。

現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を拓けることを目標とします。

授業内容：現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い現代版表現を考える。

自身の作品をより理解し、制作の可能性を拓けることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。

前期学科授業名：「版画講座」 担当講師：今井圭介

授業期間：2021/04/17(土)– 2021/07/10(土)

学習目標：「版画」という言葉は明治の終わり頃につくられた造語ですが、それは版による画（え）を意味し、版の表現を強く意識したものでした。そうした版画についてルーツをたどりながら理解を深めることを目標にします。

授業内容：始めに木版画や銅版画など様々な版画について実際の作品や版をみたり画像を通じたりしながら紹介していきます。その後、浮世絵版画や日本の近・現代の版画を中心にしてみています。

前期学科授業名：「ポートフォリオ講座」 担当講師：上野 仁志

授業期間：2021/04/24(土)–2021/07/17(土)

学習目標：初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々対応にて、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。

授業内容：ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を習得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。

前期・後期学科授業名：「芸術概論」 担当講師：新川 貴詩

授業期間：2021/07/05(月)-2021/12/13(月)

学習目標：本講義では、現代美術を読み解く力を養うことを目的とする。また、日本語読解力の向上も目標とするため、現代美術に関する論文や記事など各種の文献講読を中心に講義を進めていく。

授業内容：20世紀末から今世紀にかけての現代美術を中心に考察する。個々の美術作品やアーティストたちに関する解説のみならず、国内外の美術動向やシーンの変遷、美術館や美術教育など文化環境、国や自治体の文化政策など多角的な視点で同時代の美術について検証する。

前期・後期学科授業名：「美術日本語」 担当講師：メロス美術学院講師

授業期間：2021/07/05(月)-2021/12/13(月)

学習目標：美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。

授業内容：1.1分間スピーチ（30分）

2.美術関係記事についてのディスカッション（50分）

3.映像教材を用いた美術用語導入（90分）

4.前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分）

5.課外宿題

前期・後期学科授業名：「表現演習1・2」 担当講師：蔣 燕萍

授業期間：2021/04/12(月)-2022/02/04(金)

学習目標：思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。

授業内容：大学院合格まで授業や個別対応にてサポートします。

前期・後期学科授業名：「文章表現1・2」 担当講師：蔣 燕萍

授業期間：2021/04/15(木)-2022/02/17(木)

学習目標：文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。

授業内容：研究計画書、小論文、志望理由書などの書く添削

美術進学コース版画専攻分野対象

授業名：「版画総合研究ゼミ 1・2」 担当講師：鈴木吐志哉

授業期間：2021/04/12(月)-2022/02/25(金)

学習目標：

- 版画表現における各自のテーマにそった表現方法・版種・コンセプトを考察・研究・制作する。
- 必要に応じて版画2年の技法実習と並行し、版画技法のさらなる充実を目指す。
- 年間を通してポートフォリオを作成できるだけの作品の制作を目指す。

授業内容：

[前期] ・版画作品を2点以上制作。(2年版画実習作品含む)

- ・ポートフォリオ制作
- ・作家研究

[後期] ・版画作品を4点以上制作。

- ・ポートフォリオ制作

前期学科授業名：「日本語」 担当講師：蔣 燕萍

授業期間：2021/04/12(月)-2021/07/02(金)

学習目標：①日本語能力試験 N1 に合格できる力を付けること。

②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。

授業内容：試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。

前期授業名：「クリエイティブ概論」 担当講師：上野仁志

授業期間：2021/04/17(土)- 2021/09/25(土)

学習目標：デザイナーの役割を得るための講義と、デザインに重要な「発想力」を得るための実習を実施します。講義では、制作物を素に解説。実習では、自ら課題を設定し、個別ワーク、グループワーク、を体験する。

授業内容：「クリエイティブでのデザインとは何か？」デザイナーとしての「知識」と「発想力」を得ることを目標とします。

前期学科授業名：「ポートフォリオ講座」 担当講師：上野 仁志

授業期間：2021/04/24(土)-2021/07/17(土)

学習目標：初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々対応にて、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。

授業内容：ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を習得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。

前期・後期学科授業名：「芸術概論」 担当講師：新川 貴詩

授業期間：2021/07/05(月)-2021/12/13(月)

学習目標：本講義では、現代美術を読み解く力を養うことを目的とする。また、日本語読解力の向上も目標とするため、現代美術に関する論文や記事など各種の文献講読を中心に講義を進めていく。

授業内容：20世紀末から今世紀にかけての現代美術を中心に考察する。個々の美術作品やアーティストたちに関する解説のみならず、国内外の美術動向やシーンの変遷、美術館や美術教育など文化環境、国や自治体の文化政策など多角的な視点で同時代の美術について検証する。

前期・後期学科授業名：「美術日本語」 担当講師：メロス美術学院講師

授業期間：2021/07/05(月)-2021/12/13(月)

学習目標：美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。

授業内容：1.1 分間スピーチ（30分）

2. 美術関係記事についてのディスカッション（50分）

3. 映像教材を用いた美術用語導入（90分）

4. 前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分）

5. 課外宿題

前期・後期学科授業名：「表現演習1・2」 担当講師：蔣 燕萍

授業期間：2021/04/12(月)-2022/02/04(金)

学習目標：思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。

授業内容：大学院合格まで授業や個別対応にてサポートします。

前期・後期学科授業名：「文章表現1・2」 担当講師：蔣 燕萍

授業期間：2021/04/15(木)-2022/02/17(木)

学習目標：文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。

授業内容：研究計画書、小論文、志望理由書などの書く添削

イラストレーション・絵本専攻分野必修

授業名：「イラストレーション研究A」 担当講師：谷口広樹

授業期間：2021/04/24(土)-2021/09/25(土)

*デザインビジネス II 専攻分野が受講する場合、タイトルは「イラストレーション表現」

学習目標：ただ自身の好きなものを描くのではなく、目的に合う自分の表現のための演出力と創造性を身につける

授業内容：季刊誌の表紙のイラストレーションを制作する および 各授業毎に課題を課し授業内で制作をする

イラストレーション・絵本専攻分野必修

授業名：「イラストレーション研究B」 担当講師：都築 潤

授業期間：2021/06/14(月)-2021/09/13(月)

学習目標：イラストレーションについて一歩踏み込んだテーマ設定と研究を進めます。

授業内容：イラストレーション史（レクチャー）／作品ポートフォリオ作成

授業名：「デザイン総合研究ゼミ1・2」 担当講師：関根 慎一

授業期間：2021/04/14(水)- 2022/02/25(金)

学習目標：①これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、40点以上の作品制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。

②研究計画書を完成すること

③受験用ポートフォリオを完成すること

授業内容：各自の研究テーマに合わせた作品の制作。

美術進学コースアニメーション&コミック専攻分野対象

授業名：「アニメーション&コミック総合研究ゼミ」 担当講師：岡山拓史

授業期間：2021/04/12(月)-2022/02/25(金)

学習目標：大学院進学に向けて、試験で必要となるクオリティの高い作品制作を目指す。

授業内容：映像、漫画、デジタルイラストなど学生が希望する内容に合わせて個別に指導する。また試験で必要となるポートフォリオ、小論文、志望動機などの指導もする。

学校法人高澤学園
創形美術学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2

TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982

URL <https://www.sokei.ac.jp/>

E-mail:sokei @ sokei.ac.jp